



米のとぎ汁で EM 石けんづくり！
環境にも手にもやさしいんです！

村上市消費者協会



米袋をバッグにアップサイクル
Enjoy ethical!

南魚沼市消費者協会

一人ひとりが、気づいて繋いで、エシカル消費の輪を広げよう



中古衣料チャリティ即売会
は素敵な宝探し！

長岡市消費者協会



土に還るみつろうラップ！
Enjoy ethical!

十日町市消費者協会

〈シリーズ〉エシカル消費その2「できるかな？毎日エシカル消費！」（4p）

目次

- 令和4年度 新潟県消費者協会事業報告 2 P
- 地区だより「他の協会に聞いてほしい話題や活動・取組などを紹介」 3・6 P
- <シリーズ>エシカル消費 その2 できるかな？毎日エシカル消費！ 4 P
「社会を変えるエシカル消費」教材を作成しました！
- <気になるスポット>和島ツアー・ル・モンド 5 P
生活に役立つスマホの使い方
- 令和4年度賛助会員一覧 7 P
消費生活サポーター事業報告
- <現場を見せて> 「支え合う村づくり」移動買物支援 ～お助け隊こぼやし～ 8 P

令和4年度新潟県消費者協会 事業報告

消費生活講演会

今年度は、佐渡地区・下越地区・中越地区の3地区でそれぞれ消費生活講演会が行われ、地区連絡会も引き続き開催されました。

◆佐渡地区講演会

「フードバンク活動～食でつながる地域の支え合い～」



講師の小林氏

講師 小林 淳氏
新潟県フードバンク連絡協議会
事務局長
日時 9月13日
13時半～15時
会場 アミューズメント佐渡
参加 41名(含オンライン5名)

ウイルス禍により社会的孤立や経済的困難さを抱える子育て世代に、フードバンクではこれまでの食料支援活動に加え「子ども未来応援プロジェクト」を掲げ、親子の居場所づくりやメンタルケアにも取り組んでいます。食糧支援による資源の有効活用や環境負荷軽減にもつながることなど、フードバンク活動の意義について話されました。また、参加者に色々な質問を投げかけ、地域で支え合うための方法を一緒に考えようとお話いただきました。

◆下越地区講演会

「“白雪もち麦”がつなぐ福祉と農業」



講師の志田氏

講師 志田 貴弘氏 社会福祉法人親和福祉会コトイロ日和
日時 10月14日 13時半～15時 会場 あきは文化会館 参加 38名(含オンライン16名)

障がい者就労支援事業所である「コトイロ日和」は、レストラン等も運営し、地域と福祉をつなぐ取り組みを行っています。また、秋葉区産のもち麦を使った産・福・学・官の連携による「Akihaもち麦プロジェクト」に参加し、もち麦の生産、加工、販売の仕組みづくりを始めました。志田氏は「このプロジェクトを発展させることで、連携の輪を広げ、障がいある方たちの収入アップと、はたらく喜びにつなげていきたい、地域を元気にしていきたい。」と話されました。

※講演会の前には、新潟県消費者協会和田会長から「エシカル消費ってなあに？」の発表と、下越地区各協会（巻、白根、豊栄、新潟、新発田、五泉、新津）から「私たちのエシカル消費」をテーマにした発表がありました。



和田会長

◆中越地区講演会

「コロナに負けない愛とやる気の心理学」



講師の碓井氏

講師 碓井 真史氏
新潟青陵大学大学院
臨床心理学研究科 教授
日時 10月24日
13時半～15時
会場 柏崎エネルギーホール
参加 74名
(含オンライン8名)

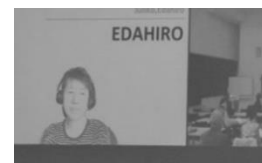
ウイルス禍は、私たちの健康や自由を奪い、やる気まで衰えさせるなど、体や心、経済的にも大きな負担を現在もかけ続けています。

碓井氏は、「距離を取らなくてはならないときこそ、愛と思いやりを積極的に示そう。愛とやる気のある活動が、あなたを幸せに、周囲も幸せにしていける。」といったコロナ禍においても守るべき人権の大切さと、今後アフターコロナ時代を生きていくための愛と勇気の大切さについて、笑顔で話されました。会場内も笑いがおこり、明るい雰囲気にも包まれた講演となりました。

金融経済講演会

「地域経済活性化のために必要なこと～アフターコロナを見据えて～」

講師 枝廣 淳子氏 有限会社イズ代表取締役 (オンライン登壇)
日時 12月2日 10時半～11時半 会場 新潟ユニゾンプラザ 参加 34名
(含オンライン6名)



枝廣氏と会場の様子

枝廣氏は、不安定・不確実なウイルス禍の時代を生きていくためには、レジリエンス（回復力、再起力）が必須であると話されました。地域経済をしながら折れない町づくりのためには、未来に向けてぶれない共有ビジョンを地域内でもつことや、地域に入ったお金を地域内で回すことなど外部に依存しない経済活性化策について積極的に取り組んでいる地域の事例を交えて講演していただきました。

団体賛助会員と一般会員のオンライン交流会

日時 9月27日 13時半～15時
会場 新潟ユニゾンプラザ
参加 27名(含オンライン14名)
●発表団体：(公財)新潟県女性財団・(株)新潟日報社・(公財)新潟県環境保全事業団
●資料提供団体：JA新潟中央会・新潟冷蔵(株)・(株)丸大イトーヨーカドー丸大新潟店・新潟県LPガス協会・第一生命保険(株)新潟支社 (敬称略)

団体賛助会員様からのご協力により、各団体のSDGsの取組状況について資料の提供があり、そのうち3団体から発表していただきました。この発表内容について会員間でオンライン上で意見交換を行い、理解を深めることができました。また、交流会後、各協会会員相互の懇談会も行い親睦を深めました。



交流会の様子

地区だより

今年度の「地区だより」は、16協회를2回(165号・166号)に分けて、他協会の皆さんに紹介したいちょっといい話や聞いてほしい話題、活動の様子、PRしたいことなどテーマを決めず自由に伺いました。

(編集委員 押見敏昭)

他の協会に聞いてほしい話題や活動・取組などを紹介

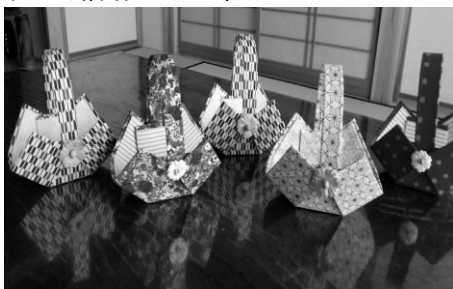
◇ウイズコロナでも楽しく活動

南魚沼市消費者協会

コロナも収束になるかと思いましたが、今だに活動も制限される中、まずは理事6人が感染対策をとりながら学習しました。

魚沼の食文化、SDGs等学習を通じて、(株)バイオマスレジ南魚沼様への視察研修へとつながりました。さらに手芸教室では牛乳パックを利用し、表裏に好きな布を貼り、持ち手をつけて素敵な菓子器を作りました。大変好評で、和やかに活動できました。

協会を推進する理事自らが、学び、親睦をはかり、楽しく活動した1年でした。



◇ポリ袋クッキングを実施

十日町市消費者協会

ポリ袋に材料を入れて作る、万が一の災害時に役立つ調理法です。

ご飯、大豆のひじき煮、ピリ辛中華蓮根、鯖の味噌煮を作りました。調味料は従来より少なく、煮くずれもせず、味がしっかり染み、油を使わないのでヘルシー。うまみや栄養素を逃がさず、一つの鍋で一度に作れるので、後片付けも楽ちん。

おまけにじゃがいものお菓子を使ったサラダも作り、会員同士と交流しながら美味しくいただきました。



ポリ袋に材料投入

◇暮らしの中のゴミを考える(令和3年～)

長岡市消費者協会

まずは、私達が購入した食品の容器類等の回収状況について、市内8か所のスーパーに設置されたリサイクルBoxなどを見せていただきました。企業の使命としてリサイクルは欠かせませんが、各店舗のエコステーションには、注意書きやリサイクル後の製品が並んでいるところもあり、消費者への理解と協力を求める姿勢がありました。

次にリサイクル容器や長岡市が回収するゴミの処理、プラゴミの削減と循環利用に向けた施策等について調べまとめました。



リサイクル製品もあるエコステーション

◇3年ぶりの農業まつり賑わう

五泉市消費者協会

農業まつりが11月3日に開催され、当協会も会場内にブースを設け、会員の手作り品や家庭内の不用品を持ち寄り販売しました。

当日は天候にも恵まれ多数の人たちが来場され、楽しい会話を交わしながら交流できました。前日の準備から始まり、最後まで会員の奮闘ぶりにただ感謝でした。

皆さん疲れもみせず笑顔で「楽しかったね」の言葉が交わされ満足の1日でした。次は1月に市長との懇談会も計画しております。



農業まつりの様子

地区だよりは6ページに続きます

できるかな? 毎日エシカル消費!

星の色は主にどのエシカル消費に該当するかを示しています

- ★ 社会の問題を考える
- ★ 環境にやさしい
- ★ 人にやさしい
- ★ 地域を元気にする

エシカル消費は「より良い社会に向け社会や人、環境、地域に配慮した消費行動」を言います。難しそうです。でも、ゴミの分別、フェアトレードマーク付き商品を買うなど、もうすでにやっていますよね? 「1か月毎日エシカル消費できるのか?」を考えてみました。(編集委員 有坂節子)

マークの意味を調べてみよう!

「FSC」「RSPO」「WFP」「MSC」



1 目 目  ペットボトルを分別してリサイクル ★	2 目 目  福祉施設の手作りお菓子をプレゼント ★	3 目 目  チョコレートに「フェアトレード」マーク発見 ★	4 目 目  納豆を手前どり! エコキャン可愛い ★	5 目 目  今日はマイカーではなく、バス通勤。 ★
6 目 目  買い物はレジ袋の代わりにマイバック ★	7 目 目  「FSC」マーク。いろいろな紙パッケージにあるよ ★	8 目 目  野菜を家庭菜園で自給自足。無農薬で安全 ★	9 目 目  自家製野菜を鍋に。鍋の後はシチューに変身 ★	10 目 目  「レッドカップ」マーク。大好きなクッキーで見発見 ★
11 目 目  マイボトル持参でウォーキング ★	12 目 目  子ども服は近所同士でもらったりあげたり ★	13 目 目  県産米粉シューククリームいただきました ★	14 目 目  コンビニのコーヒーでカエルの「レインフォレスト・アライアンス」マーク発見! ★	15 目 目  今日調理する材料はおつとめ品で ★
16 目 目  空きびんを減少。リユースビンでエコ ★	17 目 目  野菜や果物の皮はコンポストへ ★	18 目 目  「RSPO」マーク。手や環境にやさしい洗剤 ★	19 目 目  太陽光パネルで充電する折り畳み式ライト ★	20 目 目  直売所での買い物は、地産地消 ★
21 目 目  自転車通勤。健康・エシカルによし! ★	22 目 目  伝統工芸品・村上堆朱のお盆でおもてなし ★	23 目 目  「PEFC」マーク。毎日飲んでいる牛乳パックで見発見 ★	24 目 目  一回食べた豆苗を再び水耕栽培 ★	25 目 目  着物をワンピースにリメイク。素敵な洋服に変身 ★
26 目 目  新潟のルレクチェ。とろける美味しさ 最高! ★	27 目 目  あきたこまち原料の「ラムネ」いただきました ★	28 目 目  ごみを分別して、限りある資源を有効活用 ★	29 目 目  通勤は廃タイヤをアップサイクルしたリュックで! ★	30 目 目  冷凍食品にお魚が目印の「MSC」マーク発見! ★

「社会を変えるエシカル消費」教材を作成しました!

エシカル消費を知っていただくため、動画教材を作成しました。日常生活でエシカル消費を実践するヒントに、また啓発講座の教材としてもご活用ください。

<視聴方法>

動画はYouTubeで配信をしていますので、右のQRコードからご視聴ください。

また、各地区の消費者協会に、教材(パワーポイント・DVD 動画)を配付しました。ご不明な点がありましたら、県消費者協会までお問い合わせください。連絡先: NPO 法人新潟県消費者協会

Tel.025-281-5558 E-mail: n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp



エシカル消費動画



お話を伺った管理者の
菊地恵美子さん

里山に地産地消の創作フランス料理レストランと無添加パン工房
高台に立つ校舎をリノベーションした障がい者雇用事業所

＜和島ツアー・ル・モンドについて＞

- ・旧島田小学校閉校に伴い長岡市が活用方法について公募型プロポーザルを行い、社会福祉法人長岡三古老人福祉会の障がい者雇用レストランのプランが採用されました。
- ・「和島ツアー・ル・モンド」は、レストラン「バーグ」(平成24年オープン)、パン工房「アルモニエ」(平成27年オープン)等を含めた就労継続支援A型事業所の施設名です。
- ・名前は全てフランス語で、ツアー・ル・モンド、バーグ、アルモニエ、それぞれの意味は、「みんなで」「リング、指輪」「調和」です。どんな方にも楽しんでいただける場所、土地や環境、農家など全てを繋いでできる料理、人との輪、つながりが込められています。
- ・築85年の木造校舎をリノベーションして、床は堅い栗材、教室の窓ガラスは当時のままでゆがんで見える風情あるもの、椅子テーブルは特注で昔の教室の机のように引き出しがあり、カトラリーがはいっています。
- ・レストランやパン工房では地元の食材が使われ、パンは無添加でバターを使うことがこだわりです。

(編集委員 山本ヒサ)

高台にある白亜の旧島田小学校、奥がパン工房の建物



＜障がい者の継続的な雇用と自立した生活を目指し＞

- ・働いている障がい者の方は22名で、接客、食器洗浄、調理補助、製パン補助、施設内清掃、外構管理、農作業、法人施設での清掃、介護補助等など、さまざまな仕事をされています。長岡市内や隣接している市町から通っており、駅までバスの送迎があります。
- ・和島ツアー・ル・モンドは、障がい者と事業所が雇用契約を結び最低賃金を補償する形の就労形態(就労継続支援A型)をとり、障がい者の方が、知識と能力の向上をはかりながら働き、安定した収入を得て地域で自立した生活を送ることを目指しています。



の重厚なしつらえ
のレストラン

＜レストラン バーク＞

- ・営業時間&価格 ランチ 11:00~14:00 (L.O) 2,860円~
ディナー18:00~20:30(L.O) 5,000円~(予約制)
- ・定休日 水曜・木曜

＜感想＞ 里山の風情が残る地域の高台にある旧小学校とフランス料理店という異色な組み合わせが味わい深く、その発想に驚きます。おいしいお料理を楽しく味わうことで、障がい者を支援できます。

生活に役立つ
スマホの
使い方!

二次元コード (QRコード等) を読みとってみよう!

できること ホームページを見る、電子決済、プレゼントに応募 等



県消費者協会 HP

チラシや雑誌、市報、LINEなど、様々な場面で右上の四角いマークを見ることがあります。これは、「二次元コード (QRコード※等の表記もあり)」で数字やアルファベット・文字などの情報が記録されていて、スマートフォンで読み取りその情報にアクセスすることができます。例えば、右上のコードを読みとると県消費者協会のホームページを見ることができます。

左のコードを読み取ると
エンカルの消費の動画が視聴できます

県消費者協会のHPを見てみよう!

方法1 カメラアプリを使う

- ① 写真を撮るようにカメラアプリを起動
- ② QRコードを画面に写すと、右の写真のようにアルファベット(黄色内)が出てくるので押す
- ③ インターネットアプリが自動で起動し、県消協のHPがでてくる

スマホの機種によって紹介したものは操作方法・色等が違う場合があります。



方法2 Google レンズを使う

- ① Google 検索窓のカメラマークを押す。または、カメラアプリを起動して、Google レンズマークを押す。方法1の②につづく。



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

◇地域に根ざした地道な活動

新潟市消費者協会新潟支部

今年度は定例会を休まず行うことができました。下越地区連絡会の当番として関わった消費生活講演会の準備・運営では、「Akiha もち麦プロジェクト」がエシカル消費の取り組みと繋がっていること、支部会員親子が考えたもち麦の新しいレシピを紹介できました。

県協会に招請した「消費生活サポーター養成講座」も成功裏に終わりました。支部会員が全国消費者協会連合会から消費者功労賞を受賞したことは、明るいニュースでした。今後も地域に根ざした課題を拾い出す地道な活動を続けていきたいです。



下越地区連絡会

◇支部活動のひとつ

新潟市消費者協会白根支部

令和4年度は、会員同士でエシカル消費のDVDを視聴して学習会を開催しました。

また、11月に栄養成分表示の啓発のための学習会を白根支部が主催で開催しました。この取組は、新潟市消費者協会が新潟市の委託を受けて行う事業の一環です。消費者や子供向けに協会会員自身が講師になれるように研修を重ねています。近隣の地域生活センターなどで会員以外の一般の方にもチラシを配布し、消費者協会の啓発活動も行い、4名の一般参加がありました。



学習会の様子

◇研修会「安心生活を学ぶ」

村上市消費者協会

元気なうちに「もしバナゲーム」。市地域包括支援センター長を講師に迎え、カードを使い、もしもの時のために友人・家族に自分の願いを伝え理解してもらおうことや、いざという時の判断につながる話し合いとなりました。

「笑いヨガ」で心と体をリフレッシュ。

会員の有資格者による指導。ヨガは体を使い、声を出して心も体もポカポカし、笑顔で終了。会員が久しぶりに顔を合わせた良い時間となりました。参加者15名。



もしバナゲームの様子

◇島内視察研修を終えて

佐渡市消費者協会

佐渡の生活文化と自然が融合された美しさを求めて11月2日、島内視察研修が実施されました。60歳代が2名、70歳代が28名、80歳代が13名の参加でした。キウイフルーツ農場、小倉の棚田、岩首の昇竜棚田、養老の滝などについて、地形や成り立ちを講師の先生方から説明を受けました。

佐渡に住んでいても知らないことが多く、ご苦労されながらも次の世代へ繋げていくという意気込みと学びを会員の皆さんと共有することができました。



視察研修の様子

魚沼市消費者協会・県消費者協会共催

クリーニング懇談会「プロに学ぶ！衣類のお手入れ」

講師 若井 尚史氏

新潟県クリーニング生活衛生同業組合
副理事長

日時 10月1日 13時30分～15時

会場 小出ボランティアセンター 参加29人



講師の若井氏

お知らせ

令和5年度

通常総会・記念講演会のご案内

日時 令和5年5月17日(水)

会場 新潟ユニゾンプラザ4F大研修室

※ウイルス感染症の状況により変更する場合があります。

◆ウクライナ募金御礼◆ 新潟市消費者協会新潟支部様より引き継ぎ、各地区講演会に参加した方々に呼びかけ、たくさんのご寄付をいただきました。皆様からお預かりしました募金34,968円は、日本赤十字社「ウクライナ人道危機」に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

ご支援、ご協力ありがとうございます

令和4年度

賛助会員一覧 (50音順・敬称略)

<団体賛助会員>

イオンテール株式会社北陸信越カンパニー新潟事業部
 一般財団法人いがた住宅センター
 一般社団法人健康ビジネス協議会
 一般社団法人新潟県LPガス協会
 一般社団法人新潟県商工会議所連合会
 一般社団法人新潟県調理師会
 一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
 株式会社池田看板
 株式会社エイエスピー
 株式会社コロナ
 株式会社スターベッツ坂田動物病院
 株式会社ナカムラ
 株式会社新潟日報社
 株式会社新潟三越伊勢丹

株式会社ハードオフコーポレーション
 株式会社堀川
 株式会社丸大イトーヨーカドー丸大新潟店
 頸城自動車株式会社
 公益財団法人環境保全事業団
 公益財団法人新潟県学校給食会
 公益財団法人新潟県女性財団
 公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター
 公益社団法人新潟県栄養士会
 公益社団法人新潟県食品衛生協会
 公益社団法人新潟県トラック協会
 JA新潟県女性組織協議会
 JA新潟中央会
 第一生命保険株式会社新潟支社
 東北電力株式会社新潟支店

特定非営利活動法人フードバンクにいがた
 新潟県クリーニング生活衛生同業組合
 新潟県商工会連合会
 新潟県食肉生活衛生同業組合
 新潟県生活協同組合連合会
 新潟県漬物工業協同組合
 新潟県電機商業組合
 新潟県土地改良事業団体連合会
 新潟県米穀小売商業組合
 新潟県餅工業協同組合
 新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合
 新潟市商店街連盟
 新潟冷蔵株式会社
 北陸ガス株式会社
 有限会社ヤスダヨーグルト
 <個人賛助会員> 21人

消費生活サポーター事業報告

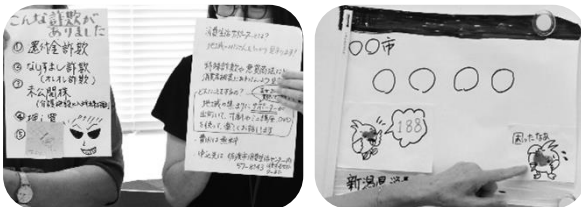
□消費生活サポーターフォローアップ講座

【開催場所・日時】

佐渡市 7/29 新発田市 8/1 三条市 8/2
 南魚沼市 8/8 上越市 8/9 10時半～15時半

【講座内容】

- ・悪質商法などの手法について理解を深めよう
- ・伝わる方法、啓発資料を考えよう!



サポーターが考案した啓発資料や会員証

□高齢者消費者被害防止一斉啓発活動

年金支給日前後に、全県で資料の配布や設置などの啓発活動を実施しました。

活動日 10/14前後の日
 配布・設置 89か所
 配布資料 3,537枚
 参加サポーター 77人



郵便局前で啓発資料を配布

□消費生活サポーター養成講座

【日時】 11/8・15・22

10時～15時30分

【会場】 新津地域交流センター

【受講者等】 受講者 27人 修了者 26人
 サポーター登録者 25人(予定)

□消費者被害防止啓発講座講師派遣

派遣数(申込件数) 60件

□サポーターグループ代表懇談会 12/5 10時～12時

新潟市、長岡市等をオンラインでつなぎ、サポーターグループの代表者の懇談会を初めて開催しました。活動の情報交換をし、親睦を深めました。



新潟会場の様子

理想の住まいと出会うために、
 不動産広告はしっかりと
 確認しましょう。

公益社団法人 **首都圏不動産公正取引協議会**
 TEL:03-3261-3811 <http://www.sfkoutori.or.jp>
 不動産公取協 検索

《現場を見せて》

支え合う村づくり「移動買物支援」 ～お助け隊こぼやし～

◇買い物の不便を解消◇

「南区の東南部、小林小学校区はのどかな田園風景が広がる地域です。この地区も高齢化が進み、運転免許の返納者などは特に買い物や通院に苦勞しています。白根まち中の、中心部にはスーパーマーケットや医療機関が沢山ありますが、地域内には1か所もありません。歩く距離としては長すぎますし、一部エリアを除けば公共の交通機関がありません。車での移動を余儀なくされます。

元々この地域ではコミュニティの活動が盛んで地域住民の生活支援活動を行ってきました。2年前から地域の買い物に難儀している人の手助けができないか、検討してきましたが、ようやく令和4年6月より実施することができました。」と話す小林コミュニティ協議会会長の小田信雄さん。(右上の写真)

小林コミュニティ協議会

新潟市南区下木山 613

小林地域生活センター内

☎025-372-3033

E-mail:kobayashi-kobafure
@bz03.plala.or.jp

数年前から、地域の買い物に難儀している人の手助けができないか、検討してきました。



小田信雄会長

＝お助け隊こぼやし＝

小林コミュニティ協議会の健康福祉部の行動部隊として、この福祉活動に積極的に取り組んできましたが、令和2年から地域の高齢者や障がい者などを対象に支援活動を始めました。主に庭の草取り、除雪、買い物代行、話し相手やゴミ出しなどを行っています。お助け隊メンバーは地域の住民が予め登録して活動を請け負っています。

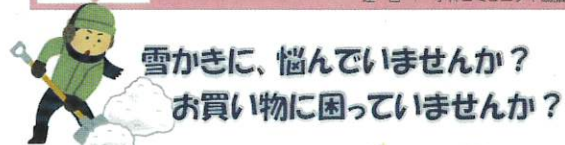
手続き方法は、依頼者がコミュニティ協議会に申込をすると、お助け隊スタッフから連絡があるので日程や内容等のすり合わせをし、お手伝い実施となります。料金支払は実施後となります。

◇地域の団体が連携し実現◇

コミュニティでは行政・社会福祉協議会・地域包括支援センターとの協議を重ね計画書を作成。その後①車両の確保②スタッフの登録③ボランティア保険に加入④試行運転などの準備を重ねてきました。パンフレットを作成し、地域住民へ個別配布して利用者に呼びかけをしました。

1回目の本格運行では3名の希望者が地元のスーパーとホームセンターで買い物をいい好評でした。現在、目の不自由な人が定期的に利用しています。専任のスタッフ、お助け隊のスタッフが買い物の手助けをおこないます。送迎の車中では楽しい会話の時間が出来て交流が生まれています。車両は社会福祉法人の車2台と個人の提供車両1台で運行しています。

(編集委員 小林 諒)



対象者

- ・一人暮らしの高齢者
 - ・高齢者のみの世帯
 - ・お身体の不自由な方など
- ※お引受けできない場合がございますので、ご了承ください。

作業料金について

除雪作業は1,000円、その他の作業は1回につき500円(基本)を頂戴いたします。
※活動に際する物品等(例:電球交換時の電球等)は依頼者のご負担となります。

お手伝い内容

除雪、買い物代行、重い物の移動、ゴミ出し等
それ以外でも生活のお困り事は「お助け隊こぼやし」へお声掛けください

(公) SOMPO 福祉財団
「住民参加型福祉活動資金助成」への応募が採択され、除雪機を購入しました。



買い物移動支援事業のお知らせ

対象：免許返納された方
日常の買い物に困っていらっしゃる方

運行日・時間	利用方法・利用料金
<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月第2・第4木曜日 ● 午前10時～午後1時 (買い物時間はおよそ1時間程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 希望者は事前申込み ● 利用料金 300円 (ご自宅を出てご自宅へ戻るまでの1往復)

お申込み お問い合わせ 小林コミュニティ協議会 ☎372-3033 (小林地域生活センター内)
平日午前9時～午後5時迄(土日・祝日を除く)

この活動は新潟市の補助金を受けて実施しております

地域住民への告知パンフレット



パワーリフトで乗車

編集後記

ウイルス禍は4年目に入り収束の気配は見えず、この1年は世界中がエネルギーや物不足で値段が高騰し、さらに円安が加わり暮らしが圧迫されています。国内外ともに多難な状況ですが、すべての人が、早く平和と笑顔、安全・安心な暮らしが戻ることを願っています。(編集委員 山本 ヒサ)